

かがやき

富士市立東小学校
学校だより
全国学力・学習状況調査版
令和5年10月18日

全国学力・学習状況調査とは

4月18日(火)に小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。目的は、文部科学省や教育委員会が全国的な子供たちの学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることであります。また学校には、子供への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。

この調査は、「教科に関する調査」と、「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査」があります。「教科に関する調査」は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等が、相互に関係し合いながら育成されているという新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査」は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査をしています。

◆調査結果から見える東小学校の子供たちの成果と課題

1 学力調査(国語・算数)の結果の概要

国語と算数の平均正答率は、学習指導要領の内容で分類すると、全国より少し低い数値となりました。

①国語と算数でよくできていた問題

国：2つの資料から要点を理解し、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる。(80字以上100字以内で文章を書く)

国：日常よく使われる敬語の理解を問う。(選択する)

算： $66 \div 3$ の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考えることを問う。

算：正三角形の意味や性質について理解しているか問う。

②課題になった問題

国：文章やグラフ等が入った3つの資料から、条件に合わせて、資料の大切な語句を入れ、概要をまとめて文章に表す。(60字以上100字以内)

国：文章から大事なことを要約する。

算：比例関係を使って、数量の求め方を式や算数用語を使って文章に表す。

算：「以上」の意味を正しく理解できているか問う。

③今後の指導

○文章の読み取りだけでなく、算数や社会でのグラフの意味や読み取り等を授業等で丁寧に扱う。

○言いたいことがうまく伝えることができるよう、上手に言葉を選択したり、要約したりする場面を授業や日常場面で設定する。

(発表や説明などの話す時や授業の振り返りを書くときなど)

○算数の用語の知識が身に付くよう、紙のドリルやA Iドリル等の活用を図り、基礎的な力をしっかり付ける。

○算数の答えだけでなく、答えを導き出すまでの過程をきちんと書くことができるよう、思考を言葉にする必要性を伝えながら授業を行う。

2 学習状況調査(児童質問紙)の結果から

富士市教育委員会では、2つの項目について数値目標を設定しています。本校との比較を以下にまとめました。

質問事項（富士市共通）	本校	県	全国
①家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。 （目標値 65%以上）	88.8	72.2	70.7
②学校の授業時間以外に、普段、1日当たり 30 分以上読書をしている。 （目標値 43%以上）	44.4	30.9	29.7

それぞれ、経年的にみても年々よい方向へ進んでいます。特に①については、4月に配付した「家庭学習のすすめ」の継続的な取組に加え、今年度から須津中学区で始めたチャンレンジノート（現在4年生以上）の成果が少しずつ表れていると考えられます。

②の読書に関連する他の質問事項「読書は好きですか」は88.9%（全国71.8%）、「昼休みや放課後、休みの日に、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行くか」1回以上100%（全国13.4%）も、高い数値となっています。これは、日々の学校全体で学校図書館を活用している表れだと思います。読書も家庭学習も継続することで、主体的な力や読解力も育まれるので、継続させていきたいと思っています。

☆その他の項目から見える本校児童のよいあらわれや課題について

質問事項	本校 (%)	全国 (%)
③人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	100	85.3
④人が困っているときには、進んで助けていますか。	100	91.6
⑤自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	100	76.5
⑥地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。（新規質問）	100	76.8
⑦英語の学習は好きですか。	100	69.3
⑧あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	100	77.2
⑨道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	100	83.6
⑩将来の夢や目標を持っていますか。	66.7	81.5

（※数値は当てはまる・どちらかといえば当てはまるの肯定的回答の合計）

よいあらわれとして③から⑨にあるように、何事にも前向きに取り組むことができるのは、東小の子供たちの大変よいところです。授業や学級会、道徳等で自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりして、自分の考えを深めていることが分かります。気になるところとしては、⑩です。自分の就業を考えるキャリア教育の授業を4年生以上で行っていますが、将来への夢が広がるようないろいろなことを経験する機会を学校でも設定していきたいと思っています。様々な場面で、地域の方々や多様な価値観とふれ合うことを通して、自分のよさを生かす将来への夢や目標へと視野が広がるような子供たちへの支援を行っていきたいと思っています。ご家庭でも機会を捉えて話題にしていたら幸いです。

また、⑥のように新規の質問事項で「友達関係に満足していますか」100%（全国90.3%）、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」よくあると時々あるは100%（全国91.0%）となり、自己有用感や幸福感に関する質問も入ってきました。子供たちの心の安定も大切にしていきたいと強く思います。

学校では、今回の調査を生かし、子供たちの学力や学習状況の改善のため、教職員が授業改善等に役立てていきます。なお、学力調査の結果は、学力の特定の一部分を示すものです。東小では、学校教育目標の「たくましく 挑戦する子」の実現に向け、心もからだ（徳・体）の面も含め、「生きる力」を育てていきたいと思っています。保護者・地域の皆様、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。